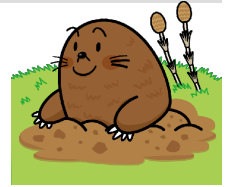


吉川小だより

3月号 令和5年2月28日 亀岡市立吉川小学校

E-mail:el-yoshikawa@edu.city.kameoka.kyoto.jp

笑顔あふれる児童活動 自分の居場所を生ま出す力と心の高まり



今年2度目の積雪。雪だるまを作ったり雪玉を投げたりして、雪あそびを存分に楽しんでいました。元気に遊ぶ子どもたちの姿を見守るように、花壇ではスイセンと紅梅がきれいな花を咲かせ春の訪れを教えてくれています。

先月は全校わくわく大なわ大会と6年生を送る会がありました。

全校わくわく大なわ大会。4月から誘い合って遊んだり、協力して掃除したりして、ふれあいを深めたなかよし班の友達との活動が中心となりました。なわに引っかからないように、連続して入れるように、もっと速いなわに入れるように、子どもたち一人一人がめあてを持って練習に励みました。失敗しても成功しても明るく微笑みながら、励まし合っている姿に、子どもたちの心の成長を感じました。当日は、これまでの練習の成果を発揮し、それぞれの班の目標回数を超える記録が出ました。自分たちでもびっくりする記録が出て、「やればできる」ことも実感できる大会になりました。

6年生を送る会。1年間の思い出を振り返り、二人の6年生に、全校のみんなから、一人一人が心を込めて「ありがとう」を伝えました。思い出の場面を演じたり、クイズがあったり、6年生を囲んで心に残る大切な時間がつくれました。吉川小学校のリーダーとして、1年間ずっとがんばってきた6年生のすごさや優しさが、下級生の言葉となって体育館に広がりました。この会を絶対成功させると心に決めて、全校のみんなに呼びかけたり、当日の司会進行をやり切った5年生の姿も大変立派でした。

令和4年度を締めくくる素晴らしい児童活動となりました。楽しい活動を通して子ども同士のふれあいを増やす。その中で、高学年の指導性を伸ばしたり、低・中学年の協力性や協働性を高めたりする。活動の積み重ねが新しい楽しさや安らぎを生み出す。この体験が心の居場所を作り出す原動力になることを願って取り組んできました。2つの活動を通して生まれた言葉や姿から、自分の居場所を作り出す力と心を子どもたち自身が育んできたことを感じることができました。保護者の皆様には、子どもたちの活動を見守り、折にふれ励ましてくださったことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

3月。野山の花や鳥の声、日差しや雲、風の音。温かさや明るさの中に爽やかさを感じられるようになります。全校のみんなも温かく明るい気持ちで、これまでの学習・学校生活を振り返り、一人一人の成長と互いの成長を確かめ合い、自信を深めて次の学年への意欲を高めてほしいと思います。

校長 橋本 浩三



わくわく大なわ大会



6年生を送る会



6年生を送る会



QRコードから、
学校だよりをご覧
いただけます。

